

日本のサイト候補地の状況

1. 北海道

(1) サイト候補地 北海道苫小牧市（苫小牧東部地域）

(2) 主な誘致活動

平成4年	4月	「北海道核融合研究施設誘致推進会議」設立
平成7年	6月	堀北海道知事、道議会で I T E R 誘致を表明
平成8年	2月	鳥越苫小牧市長が I T E R 誘致を表明
平成8年	6月	「北海道 I T E R 誘致期成会」設立

(3) 最近の動向

平成12年	8月	堀北海道知事が科学技術庁長官他に I T E R 誘致を陳情
平成12年	11月	「I T E R フォーラム」開催(主催：北海道、苫小牧市)

2. 青森県

(1) サイト候補地 青森県六ヶ所村（むつ小川原工業基地）

(2) 主な誘致活動

平成7年	1月	土田青森県六ヶ所村長が I T E R 誘致を表明
平成7年	3月	「六ヶ所村核融合研究施設誘致推進会議」結成
平成7年	10月	青森県議会が I T E R 誘致に関する請願を賛成多数で採択
平成7年	10月	木村青森県知事が I T E R 誘致を正式表明
平成7年	12月	「青森県 I T E R 誘致推進会議」を設立

(3) 最近の動向

平成12年	7月	木村青森県知事が科学技術庁長官他に I T E R 誘致を陳情
平成12年	11月	「青森県核融合シンポジウム」開催(主催：青森県、青森県 I T E R 誘致推進会議)

3. 茨城県

(1) サイト候補地 茨城県那珂町(日本原子力研究所那珂研究所)

(2) 主な誘致活動

平成4年 7月	那珂町長が科学技術庁長官他に I T E R 誘致を初めて陳情
平成7年12月	茨城県議会において「国際熱核融合実験炉の誘致に関する 意見書」採択
平成8年 3月	橋本茨城県知事が I T E R 誘致を正式表明
平成8年12月	「茨城県国際熱核融合実験炉誘致推進協議会」設立
平成9年 3月	「那珂町国際熱核融合実験炉誘致推進協議会」設立

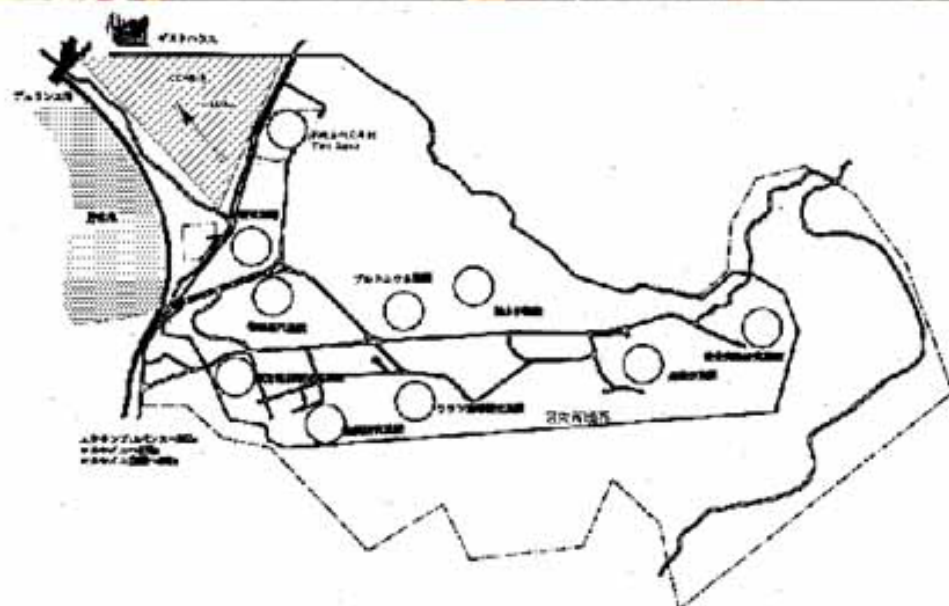
(3) 最近の動向

平成12年 8月	橋本茨城県知事が科学技術庁長官他に I T E R 誘致を陳情
平成12年10月	「I T E R と 2 1 世紀エネルギー問題講演会」開催(主催：茨 城県、茨城県国際熱核融合実験炉誘致推進協議会)

項 目		サイト要件/サイト設計仮定	北海道(苫東)	青森(むつ小川原)	茨城(那珂)
土地条件	用地面積	必須面積:40ha 追加用地:30ha	(株)苫東所有地	新むつ小川原株式会社所有	原研所有地(配置調整要)
	地盤・地質	トカマク建家 65ton/m ² @地下25m 一般建家 25ton/m ² 重大な陥没、不等沈下、液状化等の恐れがない安定な地質であること	厚い(地下120m以深まで) 第4紀洪積層。	第3紀層が地下10〜20mに存在	第3紀層が地下25〜30mに存在
周辺ユティリティ条件	電 力	定常電力 :120MW 高圧2回線の送電線 パルス電力:500MW、400MVar、 負荷変動率200MW/秒 パルス持続時間1000秒 パルス反復時間1800秒	275kV送電線(〜10km)新設要 補完設備(無効電力補償)必要	275kV送電線(〜10km)新設要 補完設備(無効電力補償)必要	既存275kV送電線あり 補完設備(無効電力補償)必要
	除 熱 (冷却水の給排水)	平均除熱量:450MW →冷却塔方式の場合: 16m ³ /min(工業用水) 最大産業排水量:3000m ³ /日	海水冷却で対応可能	海水冷却で対応可能	冷却塔方式で対応可能
	輸送道路	輸送最大寸法:幅:9m、高さ:8m、 長さ:15m 最大輸送重量: 600ton物(〜12回程度) 100-600ton物(〜100回程度)	苫小牧東港より道路の新設要	むつ小川原港より道路の新設要	常陸那珂港又は日本原子力発電(株)専用港より道路整備要
社会環境条件	生活環境	隣接都市:50km以内又は1時間以内 国際的環境の文化的生活	苫小牧(17万人)まで18km 札幌(180万人)まで60km(高速道で約40分) ()内は人口	三沢(4万人+米軍関係者1万人)まで30km 青森(29万人)まで80km(自動車で1時間40分)	水戸(25万人)まで20km つくば学園都市(16万人)まで65km(高速道で50分)
	交通利便性	主要幹線道路 国際線に連絡する空港 鉄道	日高自動車道ICまで7km 新千歳国際空港まで27km JR日高線勇払駅まで4km	東北道ICまで約70km 青森空港まで約80km JR大湊線吹越駅まで20km	常磐自動車道ICまで5km 成田国際空港まで96km JR常磐線東海駅まで4km

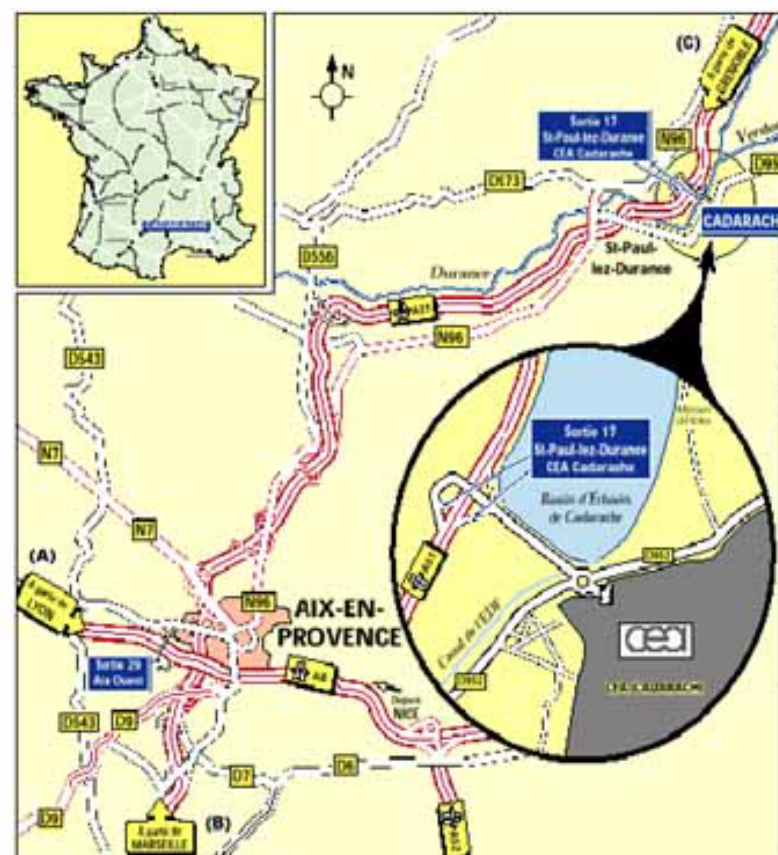
海外サイト候補地

(参考)



カダラッシュサイト(フランス)

- ・ CEA敷地(1,560ha)
- ・ 600haの未使用地
- ・ 500~700M Ψ の受電可
- ・ 冷却水を取り込む河川、貯水池あり
- ・ 多くの原子力施設があり、地盤堅固
- ・ Aix-en-Provence市から、40km
- ・ Marseille空港から70km



(参考)



- ・既存原子力サイト(485ha)、原子力施設立地要件は満足。
- ・ITERサイトとして約240haが利用可。
- ・サイト内に原発4基(計3400MW)、500MW受電は十分可。
- ・サイトはオンタリオ湖畔、冷却水は十分。
- ・サイト内の25kg/年のトリチウム回収施設からトリチウム調達可能。
- ・トロント(人口450万人)から約60km、



クラリントンサイト(カナダ)